

施設長トーク 外国人の介護福祉士

政府が、経済連携協定(EPA)に基づき介護福祉士を目指してインドネシア、フィリピン、ベトナムから来日する人材の受け入れに関し、高い日本語能力がある人材を対象とした新たな枠を設ける方向で調整に入ったという報道を目にした。EPAに基づきこれまでインドネシア(2008年度開始)、フィリピン(2009年度開始)、ベトナム(2014年度開始)から2018年度までに計約4300人が来日したとのことである。在留期間の4年までに介護福祉士の国家試験に合格すればその後も日本で働くことができる制度であるが、合格率は5割程度と聞き及んでいる。昨年度までの合格者は719人だそうである。介護は、団塊世代の全員が75歳以上になりサービスの需要が高まる2025年には約34万人の担い手が不足する見通しと言われている。日本国内の雇用への期待は高まっているものの、日本語能力の「幅広い場面で、ある程度理解できる」という課題をクリアーすることが難しく受け入れ枠の拡大につながりにくいそうだ。日本の福祉



サービスの雇用環境は、ますます厳しくなり、働く人が集まりにくい。福祉サービスのニーズはますます高まるが、働き手が現場に不足している現状をどうやって打開していくかが喫緊の課題である。人が人を支援する福祉現場は、人の尊厳を守る大事な砦である。早急な施策を期待する。

多機能型障がい福祉サービス事業所えーる油山 管理者 小関 正利



◇やさいのうた 創作ダンス◇

10月のわはは祭りのステージに向けて、日課の中でダンスの練習を始めました。先日、えーる油山ニュースでもご紹介させていただいた『えーる油山 やさいのうた』のメロディに乗って、職員が考えた振り付けを仲間たちで練習しています。そろわなくても個性を発揮♪皆で笑顔で身体を動かしています☆  
(支援員 大坪)

□東油山盆踊り大会□

8月4日(土)18時30分から城南区東油山の長谷公園で開催された東油山盆踊り大会にお誘いいただき、えーる油山が今回初めて出店させていただきました。地域の方にたくさん声を掛けていただき、楽しく参加ができました。  
(支援員 坂本)



◎クリンネス週間◎

8月の第2週にクリンネス週間を設け、えーる油山施設内の清掃を行ないました。日々の清掃ではなかなか取り組むことが難しい場所を、仲間と日課中に清掃しました。掃除した後に皆で「きれいになったねえ」「ここが汚れてたね」と感想を話し合いました。  
(支援員 藤吉)

☆9月の予定☆

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1, 2日 きょうされん職員学習交流会 | 20日 ハローデイ周船寺店バザー  |
| 6日 ハローデイ春日店バザー      | 23日 ふれあい城南フェスティバル |
| 11日 ハローデイ橋本店バザー     | 24日 福岡市障がい者スポーツ大会 |
| 13日 ハローデイ姪浜店バザー     | 27日 ボンラパス薬院店バザー   |
| 20日 ハローデイ周船寺店バザー    | 30日 堤地区大運動会       |

